

同志西原秀一の靈に！

奴等やつら支配階級のあくなき白色テロル（注1）は、うらみの山宣やません（注2）、三・一五

記念日を迎えんとする今日、遂に君の尊とうとき生命を無慈悲に奪い去ってしまった。

俺たちおれが、君の病氣保釈出獄を聞いたのは、数日前のことだ。奴等は、完全にその肉体を打ち壊して再び立つことができぬようにしてしまった時、初めて安心して病やみ犬いぬでもつまみ出すように君を出したのだ。これが労働者農民の真の利益を代表して勇敢に戦った君に対する、奴等やつらのアリガタイお礼だったのだ。

だが俺たちはちがう。俺たちは直ちに「同志西原を救え！」と檄げきして、救援闘争を起こした。うまいものでも食くってもらい、薬でも飲んでもらい、再び戦線に立つ日を希望し、ここに贈おくるわか十円の金もあつめることができた。しかし君は、この労働者、農民、働く小市民の君へのちっぽけなお礼の印しるしをも、遂に受けずして恨うらみをのんで死んでしまった。

俺たちはここに改めて、同志西原秀一の靈に、日本赤色救援会（注3）岡山地区会員を代表して深い敬意と弔意ちよういとを捧ささげる。そして君の屍しかばねに誓ちかって、君をはじめ、奴等に奪い去られた多くの同志の不撓ふたうなる闘争を継つぎ、階級戦の赤き防衛隊として、最後まで君の如ごとく戦い抜くであろう。

さらば敬愛する同志、西原秀一！瞑めいせよ！

二月二十八日

日本赤色救援会岡山地区委員会

※この弔辞は、西原秀一が一九三二（昭和六）年二月十四日（墓石は旧暦年月日）に死去してから2週間後に、岡山禁酒会館で開かれた追悼会で読み上げられたものです。（読み仮名は後援会）

注1 権力者が反政府運動に対して行う虐殺などの激しい弾圧のことです。

2 山本宣治。第一回総選挙で当選。一九二九年三月右翼のテロにたおれました。

3 治安維持法で弾圧された人々や家族を救援、戦後国民救援会に引き継がれています。